

村は、各単位自治会と 「協働の事業」に関する 協定を締結しました！

4月26日、村は村内の各単位自治会と「協働の事業」に関する協定を結び、同日、役場で締結式を行いました。

協働の事業は、各単位自治会と村の連携の下、地域社会の発展と住民福祉の充実、地域課題の解決に寄与し、村民が主体のまちづくりを協働して推進することを目的とするものです。

今年度の協働の事業は右記の9の事業です。この協定の締結は、地域住民はもちろん、多くの村民にとって公共の利益につながり、地域のまちづくりを推進するものと考えています。また当日は、併せて日本赤十字社、東海村社会福祉協議会、青少年育成東海村民会議と単位自治会との「協働の事業」に関する協定も締結され、募金活動等に係る協力が呼び掛けられました。



【令和5年度の「協働の事業」】

- ▽統計調査員運営事業
- ▽東海村表彰(善行賞表彰)に関する事業
- ▽クリーンアップとうかいキャンペーン事業
- ▽緑地保全事業
- ▽ごみ集積所新設時における自治会加入確認に関する業務
- ▽東海村原子力施設排水監視会に関する業務
- ▽東海村広域避難訓練に関する業務
- ▽民生委員・児童委員候補者の推薦に関する業務
- ▽青少年相談員運営事業

【問い合わせ】村民活動支援課(☎282-1711 内線1461)

自分たちに
できることを考えて

石神小学校で、児童会が中心となり

「2023年トルコ・シリア地震救援金」を募集しました！



■被災した方を元気づけるためにできることは…

2月6日、トルコ・シリアを大地震が襲いました。テレビ等で流れるニュースから、同年代の子どもたちも被害に遭ったことを知った石神小の子どもたちは、被災地支援のための募金活動について、自分たちにできることは何かを考えました。

■ただ単に、募金を集めるのではなく…

そこで児童会(5・6年生)が中心となり考えたのが、ただ募金を集めるのではなく、募金を集める際の封筒に、一人ひとりが絵や応援メッセージを描くこと。その封筒を使って募金を集めるほか、応援メッセージ等が書かれた手作りの封筒を一緒に送ることで、「現地の方たちを元気づけたい」という思いの下、全校で取り組みました。



令和4年度 石神小児童会の皆さん

■救援金が受け渡されました

3月30日、“救援金と応援メッセージ”が日本赤十字社茨城県支部東海村分区分区長である山田村長へ受け渡されました。【写真左から】平間前校長、山田村長
石神小学校長(当時)が訪れ、「募金活動を通して、子どもたち自身も、トルコ・シリアへの思いが強まりました。メッセージを見た現地の子どもたちが、少しでも元気になってくれたらうれしいです」と話しました。



救援金と応援メッセージは、村を通して日本赤十字社茨城県支部に送られ、被災地の復興支援活動等に役立てられます。

【問い合わせ】地域福祉課地域福祉・地域医療推進担当(☎282-1711 内線1140)